

しめのひとこと

志免町のいろんなひと、いろんなことをお伝えします！

16

点字で読みたい
思いに応える
困りごとの解消

志免 点訳サークル

ほたるの会

にしかわ やすこ

西川 靖子

「点訳を通じて、視覚障がい者のみなさまの役に立ちたい」を信条に、小説や視覚障がい者の方のリクエストに応えた点訳、官公庁や社会福祉協議会の要請に沿った広報物の点訳も手掛けています。団体のホームページでは小説の点訳本を公開しています。毎週木曜日の10時から16時に活動中です。



点字講習会の修了生で会を立ち上げ、34年目を迎えました

「志免 点訳サークル ほたるの会」(以下ほたるの会)は、志免町で点字講習会(点字図書館主催)が実施されたときの修了生が集まって発足しました。

当時、福岡市や糟屋郡の各町から参加者がいて、講習会終了後「せっかく習ったから、会を立上げましょう」と点訳ボランティア経験者である志免町在住の石津さんが先生となり、点訳を教えながら活動を続けてきました。点訳本の数は2018年に200冊を超えました。現在、糟屋郡内で点訳ボランティア団体があるのは、志免町だけです。

発足当時からの会員を含め、志免、宇美、粕屋、篠栗などから集まって、11名で活動しています。

点字はタテ3点・ヨコ2列、6つの点の組み合わせでできています。初めに点訳器と天筆(点字を書く針のついたもの)を使い、手で点訳する方法を学びますが、実際はパソコンを使って、点訳作業をしています。会員は、自宅で点訳のデータを作成し、活動日に複数人で校正を重ねてデータを仕上げ、専用

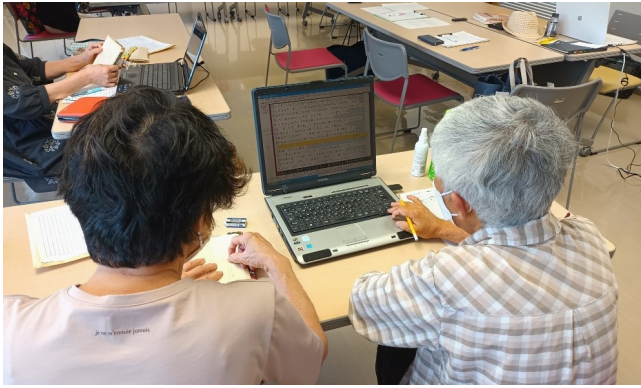
の点字プリンターで打ち出し、製本していきます。

主に小説の点訳をしますが、個人からのご依頼も受けています。志免町からの依頼で、視覚障がい者サークル「志免瞳の会」の方が会議に参加されるときに資料や、視覚障がいのある方のための料理教室のレシピなども点訳しました。また、粕屋町の町議選の選挙候補者名簿も何度か作成しました。ご依頼があれば点訳して、必要な方にお届けしています。



点訳から、点訳者のための活動に発展中

点訳者が必ず参考にする本が2冊あります。「点訳のてびき」はルールブックであり、「点字表記辞典」はルールに基づいて、点字表記の仕方を書いている本です。この2冊を使い、正しく点訳できるように確認しながらの作業は難しさを感じます。そこで、会員の深井建二さんが、点訳の世界に貢献する使命感から、点訳例と点訳のルールを一つのシステムの中に納めて、ほたるの会からの「解説」もつけた情報を「点訳の知恵袋」にまとめ、ホームページに公開しています。



毎週木曜日の点訳作業の様子

点訳本は図書館とホームページに。 「点訳の知恵袋」も知ってほしい

点訳本は町民図書館に配架されていますし、点字を透明のテープで追加した絵本もあります。ほたるの会のホームページには、今までに点訳した小説のデータを掲載しています。点訳データは手続き不要で自由にダウンロードできるようにしています。

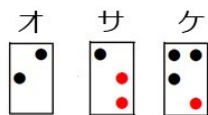
点字で読みたい方に本を届けたいという思いで活動していますから、手軽さを大事にしています。

たくさんの方にホームページを知っていただき、必要とされる方に、点訳本を手にして欲しいです。

また、「点訳の知恵袋」も、点訳者の役に立つようにまとめているので、ぜひ知って欲しいです。

点字表記は増えてきているが、 生活に密着した情報は少ない

酒類の缶の上面に、点字で「オサケ」と刻印があるのに気付いていますでしょうか。私たちの暮らしの中には、点字表記が増えましたが、視覚障がい者の求める情報が、すべて点字表記されたわけではありません。生活に密着した情報を、音声データでの情報取得方法ではなく、点字で必要とされている方がいます。なるべく早く、欲しい情報を点字の形にして、お渡しできるように作業しています。



点字は左から読みます

多様な関わり方を受け入れて 活動継続へ

数年前に40代の会員が増えました。他県からの引っ越しを機会に、点訳ボランティア経験者として活動場所を探しておられ、調べて連絡をくださって入会されました。仕事もあるため、月に一回ほどの参加です。団体としては、会員の高齢化から活動の存続を危惧していたこともあり、会員が増えて既存会員のモチベーションアップにつながりました。

以前は、毎週の活動に参加できる方を募集したい気持ちが強かったのですが、仕事をしながら活動したいと思う方の気持ちを受けとめて、多様な活動への参加の方法を受け入れてこそ、活動の継続につながると考えるようになりました。

これからのほたるの会と、志免町の未来について思うこと

コロナ禍以前は、志免町で開催される障がい者福祉啓発事業「やさしさのつどい」で、点字体験を実施して活動を紹介していました。また、小学校では、総合の時間にボランティア講師として招かれ、点字の基礎を教えていました。さまざまな点字体験を通じて、会員が増えたら良いなと思います。

今、私たちは志免町からホームページを通じて、点訳に関わる全ての人に向け、点訳の世界に貢献しようという使命感と誇りを持って活動しています。

志免町に何か一つ「日本一」を作れたら、住民が誇りを持ち、町が発展していくきっかけになると思います。良いアイデアが出るといいですね。

ほたるの会のホームページは
右のQRコードから



取材を終えて

講座の修了生が集まって始めるボランティアがあります。ほたるの会の皆さんが、視覚障がい者のための点訳と、点訳者のための知恵袋作成へと意欲的に活動する姿に、ボランティアの自主性や社会性の大切さを強く感じました。

